

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(42)

平成 28 年 3 月 30 日

村山 章

障害のあるお子さんを持った親御さんは随分と苦しむようです。周りの子は普通に成長しているのに、なぜ自分の子だけ普通ではないのだろう。私たちだけ、どうしてこんなに苦しまなければいけないのだろう。そんな気持ちがよぎるのでしょう。もちろん子供を育てるといふ営みは誰にとっても大変なことです。障害のある子供を育てるのはもっとも大変なことだと思います。ただし、この現実を親御さんが完全に受け入れたとき、そうした方々は別人のように明るくなります。そして強い人間になります。このように現実の不幸を不幸とは思わずに、強く逞しく生きておられる方からは大きなエネルギーをもらいます。

かつてある会で知り合った二十代の若い女性は、足が不自由で一生松葉杖の生活だと言われていました。しかし、それにも関わらず性格が明るく積極的な姿勢に驚きました。お会いしたことでたくさんエネルギーをもらい、自分もしっかりしなくてはと反省をしたことを覚えています。長い人生、いろんなことがあります。強く逞しく生きたいものです。

以前、私の周りで交通事故が 2 件起きました。1 件は、ほとんど相手が悪かったので、当事者だったその人は、あることないことを言って、これだけ保険会社からお金を取ってやった、などと自慢をしていました。もう 1 件は、バイクで交差点を通り抜ける際に、ある女性が運転する乗用車が突然右折してきて、乗っていたバイクが吹き飛ばされた運転手は意識不明となり、救急車で病院に運ばれました。脳が損傷していたら大変な事態になるところでしたが、幸いにも 10 日間くらい入院で済みました。このときバイクの運転手は、僕もちょっとスピードを出していたからと言って、全く相手を責めませんでした。この話から私は、人生における強さと逞しさとは何かを考えます。

長い人生いろいろありますが、一日一日を大切に、清く、正しくそして強く、逞しく生きたいものですね。